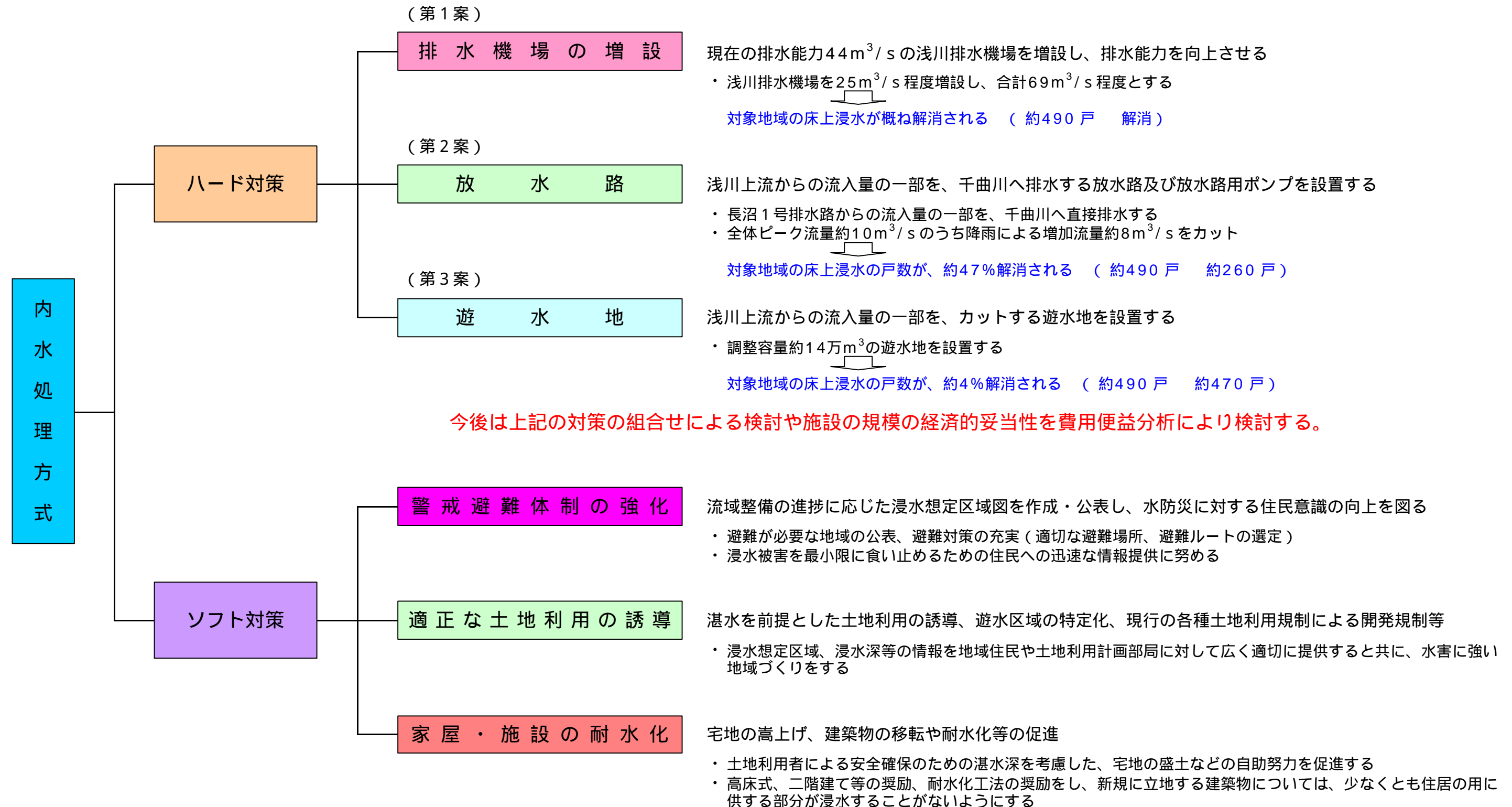


浅川流域の内水処理方式の体系

浅川流域では、昭和56、57、58年と連続して内水氾濫被害があった。このうち、既往最大である**昭和58年9月の台風10号による内水に対して床上浸水を防止する対策**について検討。



内水対策の可能性及び具体的な対策については、上記のハード対策とソフト対策をあわせ、また流域対策との組合せ等を総合的に行うことにより、内水氾濫対策の効果が期待できます。今後は、処理施設計画について、経済効果も含め周辺の土地利用からみた実現の可能性や、施設の維持管理の容易さ、計画規模以上の洪水に対する効果等を総合的に勘案して検討するが、関係市町、流域の関係機関や住民の皆さんのご意見をお聞きしながら進めていきたい。

